

## 第2章 地域福祉を取り巻く環境 の動向と課題

# 1 社会環境の変化

少子高齢化の進展，地方分権社会の本格化，価値観やライフスタイルの多様化など，わが国を取り巻く環境は大きく変化しています。

とりわけ，地域社会においては，核家族化の進行やコミュニティの希薄化などにより，これまで支えてきた相互扶助体制が弱体化するなどの大きな変化がみられます。

このような中，わが国の福祉施策においては，1980年代には施設福祉から在宅福祉の提唱がなされ，地域社会における社会福祉の実現を目指すなど，より生活者の視点を重視した「地域福祉の実現」を目指す方向へと歩んでいます。

また，平成12年4月には，「社会福祉事業法」が改正され，同年6月に施行された「社会福祉法」では，「地域福祉の推進」が明確に位置付けられるとともに「地域福祉計画」策定が規定されました。

## 2 地域福祉の現状と課題

### (1) 現状

#### (ア) 年齢3区分の人口の推移

本市における年少人口（0歳から14歳までの人口）は減少，老年人口（65歳以上の人口）は増加しています。

#### 【本市の各地区における年齢3区分の人口の推移】

地区	平成10年				平成14年				平成19年			
	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
		割合	割合	割合		割合	割合	割合		割合	割合	割合
宇都宮市	432,983	72,028 16.6%	308,844 71.3%	52,111 12.0%	446,451	66,844 15.0%	310,341 69.5%	69,266 15.5%	451,746	63,638 14.1%	303,946 67.3%	84,162 18.6%
1 本庁	125,635	19,338 15.4%	87,438 69.6%	18,859 15.0%	126,414	18,206 14.4%	84,936 67.2%	23,272 18.4%	123,340	16,800 13.6%	81,431 66.0%	25,109 20.4%
2 宝木	28,729	5,399 18.8%	20,497 71.3%	2,833 9.9%	29,575	4,948 16.7%	20,626 69.7%	4,001 13.5%	29,191	4,453 15.3%	19,802 67.8%	4,936 16.9%
3 陽南	28,288	4,560 16.1%	20,384 72.1%	3,344 11.8%	27,323	3,904 14.3%	18,901 69.2%	4,518 16.5%	26,268	3,507 13.4%	17,247 65.7%	5,514 21.0%
4 平石	27,558	4,176 15.2%	20,361 73.9%	3,021 11.0%	28,097	4,002 14.2%	19,932 70.9%	4,163 14.8%	28,928	3,675 12.7%	19,954 69.0%	5,299 18.3%
5 清原	20,842	3,573 17.1%	14,658 70.3%	2,611 12.5%	21,748	2,969 13.7%	15,499 71.3%	3,280 15.1%	23,446	2,887 12.3%	16,312 69.6%	4,247 18.1%
6 横川	28,820	5,195 18.0%	21,221 73.6%	2,404 8.3%	30,979	5,106 16.5%	22,458 72.5%	3,415 11.0%	33,366	5,279 15.8%	23,135 69.3%	4,952 14.8%
7 瑞穂野	8,959	1,807 20.2%	6,012 67.1%	1,140 12.7%	8,738	1,352 15.5%	5,946 68.0%	1,440 16.5%	8,949	1,185 13.2%	5,932 66.3%	1,832 20.5%
8 豊郷	35,319	6,494 18.4%	25,696 72.8%	3,129 8.9%	38,572	6,362 16.5%	27,780 72.0%	4,430 11.5%	40,017	6,243 15.6%	28,098 70.2%	5,676 14.2%
9 国本	11,810	2,097 17.8%	8,255 69.9%	1,458 12.3%	12,582	1,876 14.9%	8,789 69.9%	1,917 15.2%	13,332	1,865 14.0%	8,980 67.4%	2,487 18.7%
10 富屋	4,439	630 14.2%	3,027 68.2%	782 17.6%	4,331	597 13.8%	2,831 65.4%	903 20.8%	4,676	671 14.3%	2,870 61.4%	1,135 24.3%
11 篠井	2,778	461 16.6%	1,733 62.4%	584 21.0%	2,861	458 16.0%	1,705 59.6%	698 24.4%	3,382	590 17.4%	1,972 58.3%	820 24.2%
12 城山	22,625	3,753 16.6%	15,986 70.7%	2,886 12.8%	23,089	3,333 14.4%	15,957 69.1%	3,799 16.5%	23,053	3,092 13.4%	15,292 66.3%	4,669 20.3%
13 姿川	38,075	6,243 16.4%	27,972 73.5%	3,860 10.1%	40,128	5,838 14.5%	28,613 71.3%	5,677 14.1%	41,467	5,810 14.0%	28,025 67.6%	7,632 18.4%
14 雀宮	49,106	8,302 16.9%	35,604 72.5%	5,200 10.6%	52,014	7,893 15.2%	36,368 69.9%	7,753 14.9%	52,331	7,581 14.5%	34,896 66.7%	9,854 18.8%

(注) 平成19年度の人口は，宇都宮市 保健福祉部 保健福祉総務課で独自に推計したものです。

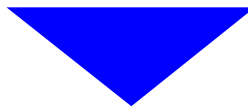
(イ) 高齢者世帯数・母子世帯数などの推移

本市においては、高齢者ひとり暮らし世帯や高齢者二人世帯はともに増加しています。  
本市においては、母子世帯は微増、父子世帯は微減の傾向です。

[本市における高齢者世帯数・母子世帯・父子世帯の推移]

[平成7年度]

	一般世帯数	高齢単身世帯		うち男		高齢夫婦世帯		母子世帯		父子世帯	
		世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合
宇都宮市	155,522	5,507	3.5%	1,244	0.8%	7,382	4.7%	2,166	1.4%	314	0.2%
本庁地区	50,686	2,583	5.1%	529	1.0%	3,148	6.2%	668	1.3%	77	0.2%
宝木地区	10,632	402	3.8%	92	0.9%	440	4.1%	289	2.7%	20	0.2%
陽南地区	10,489	451	4.3%	95	0.9%	538	5.1%	208	2.0%	20	0.2%
平石地区	10,786	268	2.5%	72	0.7%	363	3.4%	109	1.0%	18	0.2%
清原地区	6,165	136	2.2%	27	0.4%	241	3.9%	51	0.8%	17	0.3%
横川地区	10,650	182	1.7%	46	0.4%	274	2.6%	158	1.5%	18	0.2%
瑞穂野地区	2,368	46	1.9%	11	0.5%	67	2.8%	37	1.6%	15	0.6%
豊郷地区	12,608	279	2.2%	84	0.7%	415	3.3%	129	1.0%	32	0.3%
国本地区	3,744	87	2.3%	16	0.4%	135	3.6%	50	1.3%	11	0.3%
富屋地区	1,223	61	5.0%	20	1.6%	60	4.9%	19	1.6%	3	0.2%
篠井地区	641	21	3.3%	5	0.8%	37	5.8%	5	0.8%	0	0.0%
城山地区	6,914	196	2.8%	58	0.8%	309	4.5%	80	1.2%	20	0.3%
姿川地区	16,797	434	2.6%	103	0.6%	819	4.9%	207	1.2%	34	0.2%
雀宮地区	11,819	361	3.1%	86	0.7%	536	4.5%	156	1.3%	29	0.2%



[平成12年度]

	一般世帯数	高齢単身世帯		うち男		高齢夫婦世帯		母子世帯		父子世帯	
		世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合
宇都宮市	167,060	7,955	4.8%	2,171	1.3%	10,024	6.0%	2,397	1.4%	301	0.2%
本庁地区	53,594	3,567	6.7%	905	1.7%	3,856	7.2%	707	1.3%	85	0.2%
宝木地区	11,664	595	5.1%	167	1.4%	580	5.0%	316	2.7%	23	0.2%
陽南地区	10,726	620	5.8%	157	1.5%	725	6.8%	207	1.9%	19	0.2%
平石地区	11,287	377	3.3%	111	1.0%	538	4.8%	119	1.1%	6	0.1%
清原地区	6,960	202	2.9%	71	1.0%	346	5.0%	54	0.8%	12	0.2%
横川地区	11,775	314	2.7%	101	0.9%	427	3.6%	197	1.7%	18	0.2%
瑞穂野地区	2,493	97	3.9%	27	1.1%	111	4.5%	61	2.4%	8	0.3%
豊郷地区	13,966	399	2.9%	120	0.9%	604	4.3%	164	1.2%	24	0.2%
国本地区	3,985	127	3.2%	36	0.9%	217	5.4%	55	1.4%	8	0.2%
富屋地区	1,270	82	6.5%	20	1.6%	72	5.7%	27	2.1%	1	0.1%
篠井地区	691	31	4.5%	8	1.2%	58	8.4%	3	0.4%	0	0.0%
城山地区	7,461	322	4.3%	106	1.4%	447	6.0%	76	1.0%	23	0.3%
姿川地区	18,196	721	4.0%	205	1.1%	1,226	6.7%	240	1.3%	35	0.2%
雀宮地区	12,992	501	3.9%	137	1.1%	817	6.3%	171	1.3%	39	0.3%

(ウ) 障害者数の推移

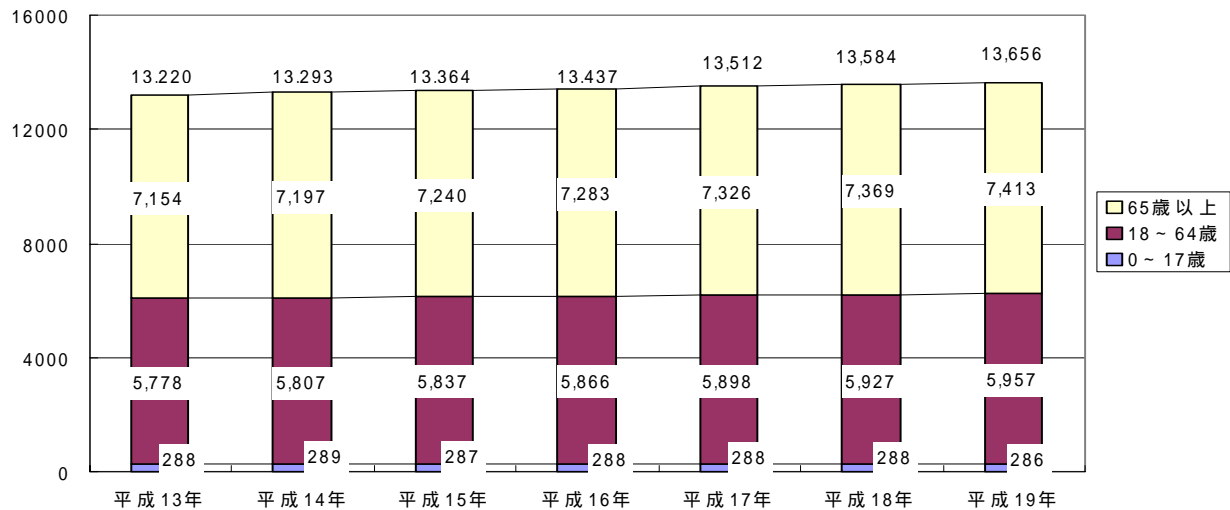
【本市における身体障害者数の推移】

本市の身体障害者数は徐々に増加しています。

(平成19年の身体障害者数の推計は13,656人、平成13年と比較すると4,366人の増加です。)

宇都宮市身体障害者数推計(平成13年度~平成19年度)

(単位:人)



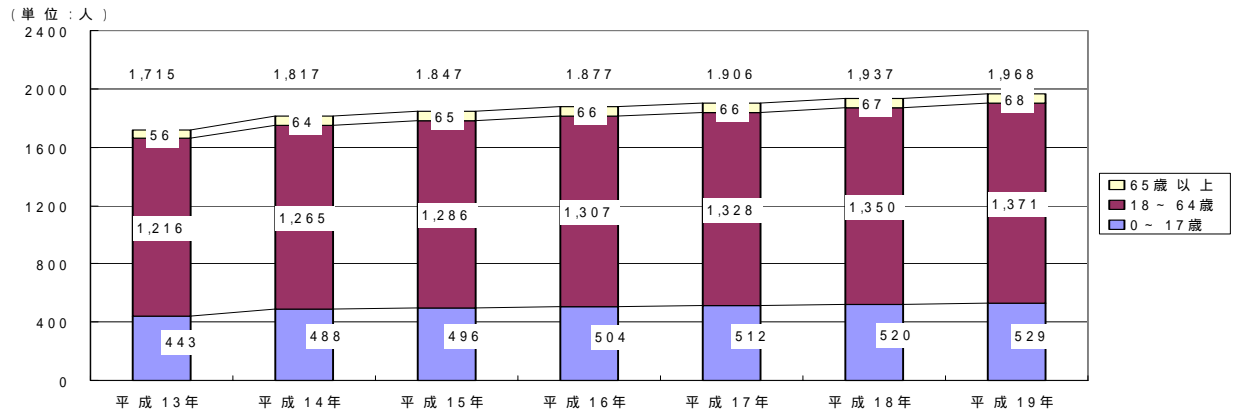
		平成13年	平成19年
視覚障害	0~17歳	10	8
	18~64歳	518	430
	65歳以上	586	487
	小計	1,114	925
聴覚障害	0~17歳	78	71
	18~64歳	677	620
	65歳以上	1,076	985
	小計	1,831	1,676
音声障害	0~17歳	0	0
	18~64歳	39	43
	65歳以上	41	45
	小計	80	88
肢体不自由	0~17歳	169	168
	18~64歳	3,256	3,245
	65歳以上	3,671	3,659
	小計	7,096	7,072
内部障害	0~17歳	17	21
	18~64歳	1,018	1,280
	65歳以上	1,376	1,730
	小計	2,411	3,031
複合障害	0~17歳	14	18
	18~64歳	270	339
	65歳以上	404	507
	小計	688	864
合計	0~17歳	288	286
	18~64歳	5,778	5,957
	65歳以上	7,154	7,413
	合計	13,220	13,656

【本市における知的障害者数の推移】

本市の知的障害者数は徐々に増加しています。

(平成19年の知的障害者数の推計は1,968人,平成13年と比較すると253人の増加です。)

宇都宮市知的障害者数推計(平成13年度~平成19年度)



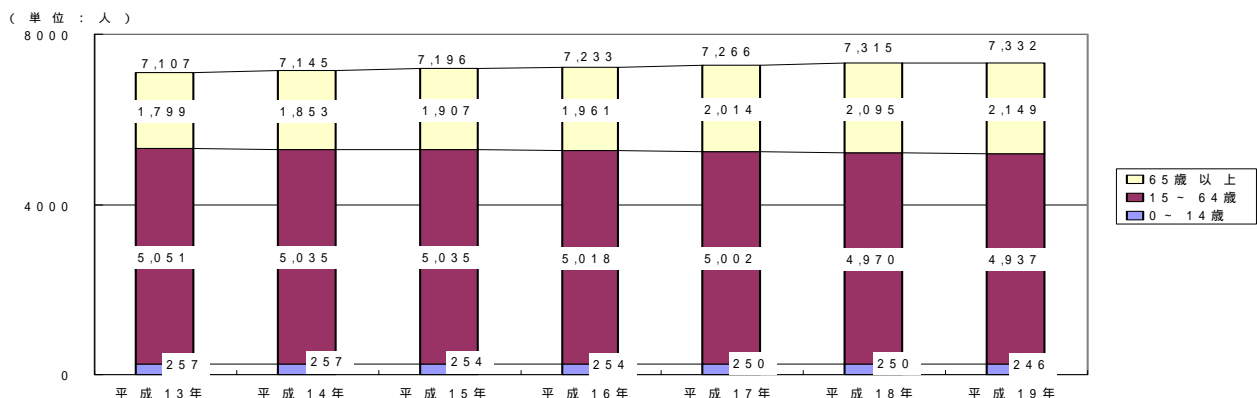
	平成13年	平成19年
0~17歳	443	529
18~64歳	1,216	1,371
65歳以上	56	68
合計	1,715	1,968

【本市における精神障害者数の推移】

本市の精神障害者数は徐々に増加しています。

(平成19年の精神障害者数の推計は7,332人,平成13年と比較すると225人の増加です。)

宇都宮市精神障害者数推計(平成13年度~平成19年度)



	平成13年	平成19年
0~14歳	257	246
15~64歳	5,051	4,937
65歳以上	1,799	2,149
合計	7,107	7,332

本市における高齢者・障害者・児童福祉分野の現状及び問題点などを、既存の福祉 3 計画など踏まえて集約した課題は以下のとおりです。

- 1 高齢者の増加，一人暮らし高齢者・高齢者夫婦世帯の増加への対応...高齢者福祉分野
- 2 障害者の増加，障害の重複化・重度化への対応・・・障害者福祉分野
- 3 働く女性の増加に伴う，保育ニーズの多様化への対応・・・児童福祉分野
- 4 児童健全育成の妨げとなる児童虐待などの社会問題への対応・・・児童福祉分野

### 3 アンケート調査に基づく地域福祉の現状と課題

#### 1 市政世論調査・市民アンケートモニター

	市政世論調査	市民アンケートモニター
調査内容	地域の福祉活動について	地域の福祉活動について
調査対象	市内在住の満20歳以上満80歳未満の市民3,400名	公募により委嘱された市内在住満20歳以上の市民100名
回答状況	1,882件(回収率55.4%)	98件(回収率98%)
調査結果の概要	<p>地域福祉活動については、約6割の方々が参加の意向あり</p> <p>参加できない理由の回答(上位3つ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「仕事の都合」</li> <li>・「意欲が湧かない」</li> <li>・「趣味や自分の時間を優先」</li> </ul> <p>身近な福祉活動の回答(上位3つ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「声かけ」</li> <li>・「会話をもつ」</li> <li>・「ゴミだし」</li> </ul> <p>参加形態の回答(上位2つ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自治会などの地域組織に参加して」</li> <li>・「知人・友人といっしょに」</li> </ul> <p>地域福祉活動に参加しやすくするために必要なことの回答(上位2つ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報提供」</li> <li>・「活動拠点の整備」</li> </ul>	<p>地域福祉活動については、約8割の方々が参加意向あり</p> <p>参加できない理由の回答(上位3つ)</p> <p>「趣味や自分の時間を優先」「家事・育児・家族だんらんなどの時間優先」「仕事の都合」</p> <p>身近な福祉活動の回答(上位3つ)</p> <p>「声かけ」「会話をもつ」「ゴミだし」</p> <p>参加形態の回答(上位2つ)</p> <p>「自治会などの地域組織に参加して」「知人・友人といっしょに」</p> <p>地域福祉活動に参加しやすくするために必要なことの回答(上位2つ)</p> <p>「情報提供」「活動拠点の整備」</p> <p>児童・生徒の健全育成に必要な活動の回答(上位3つ)</p> <p>「地域における同世代の交流」「高齢者・障害者との交流」「虐待への対応」</p> <p>地域の人たちが取組んでいくことが必要な活動(上位2つ)</p> <p>「子育てで悩んでいる家庭の手助け」「ひとり暮らし高齢者の手助け」</p> <p>地域で不足している福祉サービスの回答(上位2つ)</p> <p>「児童健全育成事業」「相談員制度」</p>

## 4 地域別意見交換会による本市の地域福祉の現状と課題

### 1 地域別意見交換会の概要

地域別意見交換会は「宇都宮市地域福祉計画」の策定にあたり、市内各地の福祉課題や将来展望などについて、地域で中心となり地域福祉活動を推進している皆様と意見を交換し、より良い計画の策定をするために開催しました。

#### (1) 実施地区

本庁（中央部）、本庁（東部）、本庁（西部）、平石、清原、横川、瑞穂野、豊郷、国本、富屋、篠井、城山、姿川、雀宮、宝木、陽南 以上の16地区（各地区3回開催）

#### (2) 実施概要

##### 【1回目】

内 容 - 地域福祉計画の概要、地域特性の説明、アンケート調査等

参加者 - 民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会、自治会長、在宅介護支援センター、福祉分野ボランティア等（参加者総数 291名）

開催日程

- ・ 8月18日（月）～8月22日（金）
- ・ 市内13地区で開催（横川と瑞穂野、国本と城山、篠井と富屋の地区については合同開催）

##### 【2回目】

内 容 - コーディネーター（国際医療福祉大学 小林助教授）を交えて、地域の福祉課題について住民との意見交換等。

参加者 - 1回目に同じ（参加者総数 212名）

開催日程

- ・ 9月24日（水）～10月16日（木）
- ・ 市内16地区で開催

##### 【3回目】

内 容 - 住民から聴取した意見等が、地域福祉計画素案の中でどのように反映されているかの説明等。

参加者 - 1・2回目に同じ（参加者総数 227名）

開催日程

- ・ 2月9日（月）～2月17日（火）
- ・ 市内13地区で開催（横川と瑞穂野、国本と城山、篠井と富屋の地区については合同開催）

## 2 地域別意見交換会における主な課題など

宇都宮市の各地域で、今後地域の中で解決すべき課題や地域福祉を推進するために必要な事項などについての意見交換を行ったところ主な課題は以下のとおりです。

### 宇都宮市全地域での主な意見・課題

区分	主な課題
福祉全般	<p>自治会・民生委員・福祉協力員など地域組織のネットワーク構築の検討                      (地域福祉を担う各地域組織の連携強化など)</p> <p>普段の生活や福祉サービス利用時における移送手段確保の検討                      (高齢者・障害者等に対して車で送迎など移送・外出介助の担い手の確保など)</p> <p>地域のすみずみまで福祉情報が流れる仕組みづくりの検討                      (情報交換がうまくなされていないなど地域組織同士の連携が不十分、地域のすみずみまで福祉情報が流れる仕組みが不十分など)</p> <p>地域の既存施設を地域福祉活動に有効活用するための方策の検討                      (地域の空き施設などを地域住民の交流拠点として活用するなど)</p> <p>地域福祉活動における福祉ボランティアとの協働促進の方策の検討                      (地域福祉活動を担う人材が不足しているが、地域福祉活動における福祉ボランティアとの協働が不十分など)</p> <p>身近な地域における保健や福祉などの相談体制整備の検討                      (身近な場所に保健や福祉の相談場所が不足など)</p>
高齢者	<p>行政・住民・事業者が連携したかたちでのひとり暮らしの高齢者などに対する見守り体制の検討                      (住民・事業者・行政が連携したかたちでのひとり暮らし高齢者などへの見守り体制が不十分など)</p> <p>ひとり暮らしの高齢者などに対して声かけ・あいさつなどを励行するなど地域への誘い出し方策の検討                      (ひとり暮らし高齢者への見守り体制が不十分など)</p>
障害者	<p>地域組織が連携したかたちでの障害者に対する見守り体制整備の検討                      (知的)障害者相談員を地域担当制にするなど地域で課題に対応できる体制づくりの検討</p>
児童	<p>地域組織と民生委員・主任児童委員が連携した児童健全育成のための支援体制整備の検討                      (地域ごとに主任児童委員の役割を明確化させるなど有効な支援体制づくりなど)</p> <p>児童・生徒・保護者などに対する福祉教育・啓発の方策の検討                      (児童・生徒・保護者などに対する福祉教育・啓発が不十分)</p>

## 5 課題の総括

既存の福祉 3 計画や地域福祉を取り巻く現状及び問題点，アンケート調査からの現状，地域別意見交換会からの現状から導き出された課題は以下のとおりです。

【凡例の定義】

- ・ **地** . . . . . 地域福祉を取り巻く現状及び問題点からの課題
- ・ **ア** . . . . . アンケート調査からの課題
- ・ **意** . . . . . 地域別意見交換会からの意見・課題

### ● 福祉サービスの質の確保についての課題

- ・ 身近な場所に保健や福祉の相談場所が不足**意**
- ・ 地域で不足していると思われる福祉サービスの 1 位は「相談体制・相談事業」**ア**

### ● 福祉が必要な人・これから必要となる人への対応についての課題

- ・ ひとり暮らし高齢者，高齢者夫婦世帯の増加**地**
- ・ 障害者数の増加**地**
- ・ 児童虐待の社会問題化**地**
- ・ 高齢者，障害者などの緊急時や福祉サービス利用する際の移送手段の確保が困難**意**

### ● 相談・支援体制についての課題

- ・ 身近な場所に保健や福祉の相談場所が不足**意**
- ・ 地域で不足していると思われる福祉サービスの 1 位は「相談体制・相談事業」**ア**

### ● 情報提供・共有についての課題

- ・ 地域のすみずみまで福祉情報が流れる仕組みが不十分**意**
- ・ 地域福祉活動推進のために「情報提供」が必要**ア**

### ● 福祉に関する人材の確保についての課題

- ・ 地域福祉活動を担う人材が不足しているとともに，福祉ボランティア等との協働が不十分**意**

### ● 安心した在宅生活を送るための住環境の整備についての課題

- ・ 高齢者の多くが，身近な地域で住みやすい環境を望んでいる**ア**

### ● 地域ネットワークの連携強化に関する課題

- ・ 地域における相互扶助体制の弱体化<sup>地</sup>
- ・ 福祉協力員・障害者相談員・主任児童委員などが有効に地域福祉活動ができる体制づくりが不十分<sup>意</sup>
- ・ 情報交換や福祉の協働活動がうまくなされていないなど地域組織間の連携が不十分<sup>意</sup>
- ・ 地域福祉の中心を担う在宅介護支援センターの住民への周知が図られていない<sup>意</sup>

### ● 地域ネットワークを支える団体等の充実強化に関する課題

- ・ 福祉協力員・障害者相談員・主任児童委員などが有効に地域福祉活動ができる体制づくりが不十分<sup>意</sup>
- ・ 地域組織などが連携したかたちでの高齢者・障害者・児童に対する見守り体制が不十分<sup>意</sup>
- ・ 社協・民生委員など関係団体の充実強化が必要<sup>意</sup>
- ・ 福祉ボランティアなどの福祉に係る人材の確保・支援が必要<sup>意</sup>

### ● 住民の福祉活動への参加促進に関する課題

- ・ 高齢者、障害者などの緊急時や福祉サービス利用する際の移送手段の確保が困難<sup>意</sup>
- ・ 地域の既存施設の地域福祉活動への有効活用が不十分<sup>意</sup>
- ・ 多くの住民に、気軽な福祉活動である「声かけ」「あいさつ」の意向あり<sup>ア</sup>
- ・ 市民の地域福祉活動への参加意向は約 6 割<sup>ア</sup>

### ● 生きがいづくりに関する課題

- ・ 高齢者・障害者の多くが趣味や就労など生きがいを持った社会参画への意向あり<sup>ア</sup>

### ● 福祉に対するこころの醸成についての課題

- ・ 児童・生徒・保護者等への福祉教育・啓発が不十分<sup>意</sup>
- ・ 「あいさつ」「声かけ」が気軽にできる地域の雰囲気づくりが必要<sup>意</sup>

### ● 福祉教育に関する課題

- ・ 児童・生徒・保護者等に対する福祉教育・啓発が不十分<sup>意</sup>

これらの課題を踏まえて総括をすると  
次の 3 つの大きな課題に集約されます

## 1 地域における安心して充実した在宅生活に関する課題

今後増加が見込まれる高齢者・障害者などに対して権利擁護・相談体制の充実などにより福祉サービスの質の確保を図り、また、移送手段の確保などに配慮し、適切な福祉サービスの利用の促進に努めることが必要です。

身近な地域の中で、気軽に保健や福祉に関する相談をすることができるよう、総合的な相談・支援体制の充実を図ることが必要です。

住民が福祉情報を的確に獲得し、自ら有効な福祉サービスの提供が受けられるよう地域における情報提供・共有の充実を図ることが必要です。

高齢者・障害者・児童分野などの多彩な地域福祉活動を支える福祉ボランティアなどの福祉の人材が不足の傾向にあることが課題であるため、福祉マンパワーの確保を図ることが必要です。

高齢者・障害者などが住みなれた地域において安心して住める住環境などの整備が求められていることから、バリアフリーの推進を図ることが必要です。

## 2 地域の支えあいのネットワークに関する課題

地域住民が自立した生活の支援をするため、地域で福祉サービスの提供・相談支援の中心を担う在宅介護支援センターの充実強化や地域組織及び保健・医療分野との連携が課題であることから、これらに配慮した、地域における総合的なネットワーク体制を強化することが必要です。

高齢者・障害者・児童分野などの地域福祉活動を支える地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員などの地域組織や福祉ボランティア等の「福祉力」の強化が地域福祉推進に重要であり、これらの地域ネットワークを支える団体等の充実強化を図ることが必要です。

高齢者・障害者などが福祉サービスを利用しやすい仕組みづくりや、地域施設の有効活用などが地域福祉推進の課題であり、これらを通じた住民の福祉活動への参加促進など社会参画の促進を図ることが必要です。

今後、福祉サービスの提供者も受け手もお互いに支え合う地域社会の仕組みづくりが求められていることから、地域住民が福祉サービスの提供者となるきっかけづくりのため、地域における交流・生きがいづくりの推進が必要です。

地域住民の主体的な福祉活動への参加促進の素地として、福祉に対する理解を深め、福祉のこころを醸成させるため周知・啓発を推進するとともに、地域の教育機関や団体などが連携して福祉教育を推進することが必要です。

